

■ 臨時総会のご報告

去る1月28日(日)、総合福祉会館にて、臨時総会が開催されました。今回の臨時総会では、「アメグスト」の事業終了についてと、支える会の今後についてという、重要な議案について議決を行いました。

まずは杉江理事長から、開会の挨拶がありました。

「今回の総会は、苦渋の思いで開催した。支える会は、約30年前に精神保健法が施行されたことをきっかけに、医療福祉関係者の勉強会として始まった。1995年にはグループホーム『のびのび』、2000年には生活支援センター『アメグスト』を開設するなど事業を拡大し、市民運動を牽引してきた。発足から二十数年が過ぎ、近年では事業体としての役割が大きくなっていた。法人解散の方針が出されてからは、各事業が他法人への移籍や独立をし、アメグストのみが残っていた。2016年には鈴木健二前理事長が勇退され、その後を継いで2年になる。本日は重要な議案の審議、よろしくお願いします。」

この後、事務局推薦により、議長は金子将大氏(アメグスト施設長)、議事録署名人は中島直行氏と小林哲也氏が選出され、定足数の確認ののち(正会員総数58名のうち、当日出席14名、委任状33名の合計47名で、過半数を満たしており本総会は成立)、以下の議案について審議しました。

第1号議案 「アメグスト」の事業終了について

1 2018年度末(2019年3月31日)をもって、「アメグスト」が行っているすべての事業(※)を終了する。

※「よこすか障害者地域活動支援センターアメグスト」の行う横須賀市の委託事業(障害者相談サポートセンター事業)並びに「相談支援センターアメグスト」の行う指定事業(指定特定相談支援・指定一般相談支援・指定障害児相談支援)

2 利用者への不利益が生じないよう、支援の引継ぎ及び必要とされる事業や機能の継承について、横須賀市と協議しながら対応していく。

第2号議案 支える会の今後について

1 2019年度中をもって法人を解散する方向で準備を進めていく。

2 解散の時期については、現在アメグストが行っている事業の終了と事後処理スケジュールの見通しが立った段階で、改めて総会で決議する。

(2ページ目に続く)

(1ページ目からの続き)

第1号議案について、杉江理事長より、経過の説明を行いました。

「法人の解散宣言後、各事業は他法人への移籍や独立をしてきたが、アメグストは委託事業のため、移籍を検討したものうまくいかなかった。そのため、継続する方針を理事会で決定した。しかし昨年、横須賀市により委託相談支援（障害者相談サポートセンター）事業の廃止が決定された。指定相談支援事業（サービス等利用計画の作成など）のみでの経営は困難なため、相談支援事業からの撤退とフリースペース事業のみの継続を検討してきた。その後市の方針は変更され、サポートセンター事業は継続されることになったものの、検討した結果、当法人での事業継続は困難との結論に達した。今後は、他法人が委託を引き継ぐ予定で、決まり次第発表される。残り1年という短い期間だが、利用者の幸福のために最大限努力したい。」

第1号議案、第2号議案とも、全会一致で承認されました。

最後に、金子副理事長からの閉会の挨拶をもって、本総会は終了しました。

「支える会に携わり、十数年になる。本来、諸先輩方の活動を引き継いでいく役割だが、このような結果になり、残念で申し訳ない。残り期間、皆様のお力をお借りして努力していきたい。」

<アメグストを取り巻く状況の変化について>

総会報告の通り、アメグストは2019年3月末をもって、事業を終了することとなりました。皆様には、ご心配をおかけして大変申し訳ありません。横須賀市による次の事業委託先が決まりましたら、責任を持って引き継ぎを行ってまいりますので、ご理解をお願い申し上げます。

アメグストは、精神保健福祉法に基づく「精神障害者地域生活支援センター」として2000年に開所しました。特徴はフリースペース（たまり場）を中心とした支援です。たまり場と相談支援が一体化した形態により、主体的に相談をすることが苦手な人たちとも支援関係を作ることができました。一方で、面接技術などの職員の専門性や力量の不足という問題があり、後々、相談支援事業所としての課題となりました。また、通所が途切れた方への継続的な支援や、通所できない方の掘り起しは不十分でした。

2006年の障害者自立支援法の施行により、相談支援事業所と地域活動支援センターの併設という形態になりました。横須賀市の場合、管轄が保健所から障害福祉課へ移り、三障害（身体・知的・精神）を対象とした、委託相談支援事業所（横須賀市では「障害者相談サポートセンター」という名称）となりました。

2012年には、障害者自立支援法の改正により、障害福祉サービスを利用する全ての方に対してサービス等利用計画の作成が必要になりました。アメグストをはじめとする相談支援事業所は、計画の作成に追われ、サービスにつながらない相談を受ける余裕が無くなっていきました。また、委託を受けていない指定相談支援事業所からは、委託の事業所がそれに見合う役割を果たしているかどうか、厳しい批判を受けることにもなりました。

同時期に、障害者自立支援協議会（横須賀市での名称は「障害とくらしの支援協議会」）において、基幹相談支援センターの設置と、相談支援体制の再編が検討されてきました。サポートセンターを廃止し、新設される基幹相談支援センターに機能を統合する方針で議論が進んできましたが、この方針はいったん白紙となり、当面サポートセンターは継続することになりました。しかし、今後の方向性が不透明な中、これ以上の事業継続は困難と判断し、アメグストは事業を終了することに決定しました。

アメグストはいったん一区切りをさせていただきますが、福祉サービスに乗ることができない方々の支援をどうすればいいかという課題は残されたままです。かつて支援センターを立ち上げた人々がそうであったように、組織の枠を超えて関係者が支え合って考えていくことができれば…と思います。（本橋）

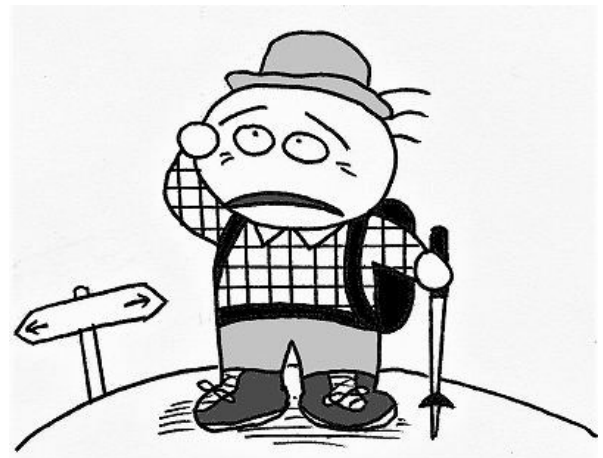
1280 という数字からはなにが想像できるでしょうか？この数字はアメグストが“たまり場”として始まり、現在の障害者相談サポートセンターとして変化してきた中で出会った人々の数です。まずはこれだけの方々とお会いする機会を頂き、関係者の皆様のご協力に御礼申し上げます。そしてアメグストがひとつの終止符を打つことについて、ご迷惑をおかけして申し訳ありません。

今回は紙面をお借りして、今日に至るまでに横須賀ではどのようなことが起きたのか、先行きの不透明な“いま”の状況を記していきたいと思います。

いま横須賀は大きく変化をするための準備をしています。それは各計画の側面からも伺えます。たとえば横須賀市実施計画、地域福祉計画、そして第5期障害福祉計画など。その中でも第5期障害福祉計画では横須賀市の相談支援体制に新しい潮流が入りました。始まりは基幹相談支援センターの設置についてでした。現行の計画では2017年度設置を目標に、その在り方を横須賀市障害とくらしの支援協議会にて数年に渡り検討が行われてきました。しかし、2017年10月に開催された第5回障害福祉計画等検討部会にて、大きな方針転換を伴う内容が素案として事務局より提出されました。この出来事がそれぞれに考えている相談支援の在り方を議論する火種となり、基幹相談支援センターと4カ所ある障害者相談サポートセンターの在り方、そして今後の相談支援体制全体の在り方を再び検討する場を設ける流れが生まれることとなります。この新しい潮流には地域に根差した総合的な相談場所、地域共生社会、そして対話といったものが複雑な状態で絡まっているように思います。

アメグストも事業所の移転を繰り返す中で少しずつこの潮流に影響を受けてきました。かつては精神障害者のたまり場としてスタートし、現在は数多の社会資源にもつながれなかった人々の最初の居場所として変化してきています。この変化は精神障害者の生活を支える会として発足した法人のひとつの節目を迎えたのだらうと思います。そして未だアメグストにできえつながっていない方が市内にたくさんいるのだらうと想像するようになりました。私は彼らの一人でも多くが、再び社会との接点を持つ場、社会から逃げて良い場、再び仲間と会える場、それぞれの安心できる居場所が必要なのだらうと、このわずか数年あまりの時間を振り返って考えるようになりました。

未だ新しい潮流の行き着く先がどのような横須賀になるのか。この先は濃霧に覆われていてわかりません。私はこの不確かな時代を耐えていくしかないのだらうと思っています。それはきっと多くの方にとっても同様に不安で、不満で不信も積み重なってしまう時代でしょう。この不確かな時代を仲間と共に丁寧に話を聴くこと、丁寧に対話を重ねていくことで、居場所と相談支援のさらなる新しい潮流がこの横須賀で生まれればと思います。

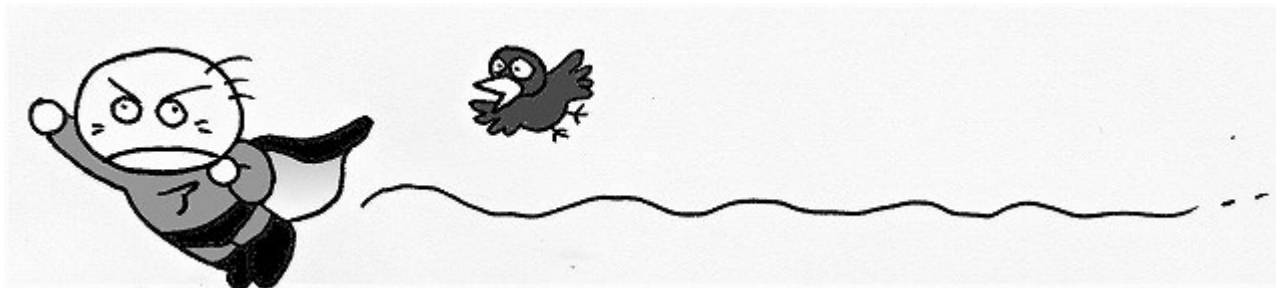


■ アメグスト近況報告

はじめに妙真寺さまより寒行浄財をいただきましたことをご報告させていただきます。日頃よりアメグストと支える会へのご協力をいただいております。この場をお借りして御礼申し上げます。

さて、最近のアメグストでは少しずつ雰囲気を変化させているように感じます。具体的には、移転に伴った環境の変化はもちろんですが、近場に越してきたことで様々な方が立ち寄られる空間となったことです。昔懐かしいメンバーが再び利用したり、これまでにどの社会資源とも関わりがなかった方が新規利用をされたりと、新旧ともに新しいつながりが生まれてきているように感じます。

直近の人数では月に延べ200名ほどの方がアメグストに来所されました。雑談をする方、テレビを観る方、CDを聴く方、将棋やカードゲームをする方。これらを一つの部屋で一斉にやるとかなり混沌とした雰囲気になりますが、皆さんそれぞれに自分の過ごし方を見つけ、居場所として必要としてくれているのだと思います。(金子)



～利用者の皆様からのご意見～

アメグストの事業終了に関して、利用者の皆様からいろいろな意見をいただきました。ここに一部を紹介させていただきます。

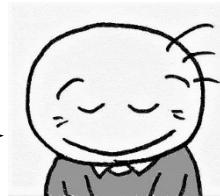
「次のアメグストの引き継ぎ先も、今と同じ形でやってほしい。今のメンバーを受け入れてほしい」

「精神は特性が他の障害と違う。総合相談になると、精神への対応が手薄にならないか心配」

「基幹相談支援センターに相談すれば、専門の機関まで同行してくれて、つないでもらえるだろうか。それなら安心できる」

「アメグストは今まで通り無料で利用できるようにしてほしい」

ありがとうございます。
これからもいろいろご意見をお寄せください。



特定非営利活動法人 三浦半島地域精神障害者の生活を支える会

<http://sasaerukai.p2.weblife.me/>

よこすか障害者地域活動支援センターアメグスト（法人本部）

〒238-0014 横須賀市三春町 3-44 電話 046-845-6902 FAX046-845-6903